

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	老年看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	1年生の教室及び実習室
担 当 教 員	吉村 麻衣子	実務経験と その関連資格	看護師 病院等で5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
日本における高齢者の置かれた状況及び高齢社会における制度やシステム、加齢や疾病が心身や生活に与える影響を学び、加齢に伴う変化のアセスメント及び高齢者の状況や場に応じた高齢者や家族への支援の在り方を検討できる能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
終講試験及び課題レポート、授業態度で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
堀内ふき・大淵律子 ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 MCメディカ出版 (デジタル版) 厚生労働統計統計協会 国民衛生の動向 最新版						
《授業外における学習方法》						
高齢者に関心を持つことが老年看護学の学習の始まりです。社会生活を営む高齢者の様子を日常生活の中でも観察したり、身近に高齢者の方がいる場合はコミュニケーションをとるなど高齢者の方に興味や関心をもってください。						
《履修に当たっての留意点》						
単に受講するだけでなく、毎時間の講義について自主的に学習をする態度が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者を看護する専門職に必要な態度を説明することができる	教科書 P.168		
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本① 高齢者看護の特性 高齢者看護にかかわる諸理論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者看護の倫理と自己決定の支援について説明できる	教科書 P.189		
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本② 高齢者看護における倫理			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者のバイタルサインの特徴とアセスメントのポイントを説明できる	教科書 P.200		
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本③ 高齢者に対するフィジカルアセスメント			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者看護におけるチームアプローチを実践するための基本的知識を理解できる	教科書 P.235		
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本④ 高齢者看護におけるチームアプローチ 高齢者のリスクマネジメント 災害時の高齢者看護			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者のヘルスプロモーションの必要性について説明できる	教科書 P.258		
		各コマにおける授業予定	高齢者のヘルスプロモーション 高齢者の健康増進 生活習慣予防 転倒予防 認知症予防 健康増進プログラム			

